

むさし野

No.39

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
電話・FAX 049-225-2466
E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp
ホームページ: <http://www.longview.jp/musashino/>

今年度も「卒業生の井戸端会議」の場として

会長 石井 満

東日本大震災に被災された方々に心からお見舞いとご冥福をお祈り申し上げます。

もの凄い地震でした。被災から1ヶ月余が経ちましたが、福島第一原子力発電所はまだ放射性物質の放出や臨界危機が治まらず、被害は日に日に拡大しています。今、自分に何が出来るかを考えながら、政府発表の通り冷静に行動する以外にありません。

先日ある集まりが有り、集まった人員は9名で内、1名がアメリカ人でした。そのアメリカ人が我々に「今年お花見をしますか?」と質問しました。私以外全員「静かにします」と、答えました。私は「しません。するなら酒なしで静かにします」と答えました。そのアメリカ人は、「ミスター石井抜きで、皆でお花見に行きましょう」と言って皆を笑わせました。その後、雑談である一人が偉人の教え「何が起ころうとも、日常の生活をするのが大事だ」と説くと、皆異論はありませんでした。

さて、去る4月5日に「法政むさし野会」会計監査に立ち会いました。決算・予算の概要はざりざりですが、平成22年度の決算を終え、新年度を迎えることが出来ると思います。もちろん最終承認は総会です。一番は会費の納入率が90パーセントを維持している事です。残念ながら会員は現在50名を割り45名と減少しましたが43名の納入者を数えます。会の運営はこれからますます会員が減って行くのではないかと思います。それは、通信教育での卒業生の数が激減している事と時代的に他人との関わりに倦怠感を覚える人が多くなってきている傾向があります。

インターネットの普及により日常の買い物も銀行振り込みも他人と会わず会話もせずに、家に居ながらに

して出来てしまします。便利は危険だと思いますが、いかがでしょうか?

当会の特徴は井戸端会議だと思っております。人には言えない様々な自慢話や永く続けている家事や料理、旅行、最近読んだお勧め本、楽しかった会話、等々。きっと貴方の話を聴いてくれる人に出会えると思いま

す。私事になりますが、本年2月で還暦を迎え会社を定年退職いたしました。未だ駆け出しの定年生活の身です。これから永い第二の人生を歩んでいきます。

写真(上)の説明をさせて下さい。定年を前に、本年1月家族3人で中東(オマーン王国、アラブ首長国連邦)へ旅しました。憧れの360度砂漠に囲まれた、文字通り砂漠の中に一軒しかないホテルに宿泊した時の一枚です。アラビアの民族衣装を着て得意げなポーズです。変化を付けた写真がいいかなと思って選んでみました。

それでは、総会でお会いいたしましょう。何か自慢話を聞かせてください。お待ちしております。

(追記)

今回の大震災について、「会」としての義援金等の活動は予定しておりません。復旧支援にもさまざまな方法があるかと思しますので、皆様の自主的な支援方法にお任せいたします。



定期総会のお知らせ (詳細は4ページをご覧ください)

2011(平成23)年度定期総会を下記の通り開催いたします。会員各位のご出席を頂きたくご案内いたします。

- ・日時 2011年6月5日(日) 13時30分～17時00分
- ・場所 さいたま市民会館うらわ 605号室

今年も総会において会員皆様の趣味や活動の成果を展覧します。陶芸、絵画、エッセイ、著書、写真、書、新聞に掲載されたご自分の記事や寄稿等々。展示ご希望の方は同封の葉書通信欄に、作品展名を書いてください。なお、総会出欠の葉書は5月21日(土)までに届くようお願いします。

■ 第1号議案 2010(平成22)年活動報告

1. 定期総会の開催
 - ・定期総会：10年6月6日(日)開催。さいたま市民会館「うらわ」
提出5議案（09年度活動報告、09年度決算及び会計監査報告、10年度活動方針案、10年度予算案、役員改選および顧問の指名）を原案通り可決・承認。出席者：23名
2. 役員会の開催
 - ・第1回役員会：10年6月6日(日)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」
 - ・第2回役員会(拡大)：10年11月21日(日)開催。於：川越市・右門
 - ・第3回役員会：11年2月6日(日)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」
3. 会報の発行
 - ・会報「むさし野」第36号：10年5月15日(土)発行。定期総会開催告示他
 - ・会報「むさし野」第37号：10年9月25日(土)発行。定期総会報告、会員の声他
 - ・会報「むさし野」第38号：11年1月15日(土)発行。年頭に当たり、見学会報告他
4. 研究発表会・見学会の開催
 - ・第20回『小江戸川越散策』見学会：10年11月21日(日)実施。
参加者：10名
 - ・第21回『読み聞かせ「葉っぱのフレディー」』研究発表会(発表者・飯田桂子会員)
：11年2月6日(日)実施。於：さいたま市民会館「うらわ」
参加者：16名
5. 講演会の開催
 - ・定期総会記念講演会：09年6月6日(日)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」
演題：『学校教育の現場から』 講師：北本市立北本中学校校長・齋藤仁氏
参加者：23名
6. 法政大学校友連合会主催事業への参加
 - ・10年秋季『神宮の集い』：10年10月2日(土)、法大(2)対慶大(1)・1回戦。
於：明治神宮野球場 参加者：2名
 - ・第18回法政大学全国卒業生の集い『青森大会』：10年10月9日(土)～10日(日)
於：ホテル青森(青森市)他 参加者3名(会員2名・関係者1名)
 - ・11年オール法政新年を祝う会：11年1月15日(土)、於：グランドプリンスホテル
赤坂 参加者：10名(会員8名・関係者2名)
7. その他
 - ・09年度埼玉県出身の通信教育部卒業生に対し、入会勧誘文書・会報等を送付、勧誘活動を実施。
その他、会員名簿の配布及びホームページの充実等。

■ 第2号議案 2010(平成22)年度収支決算及び監査報告

1 収支決算書

支出の部 自 2010(平成22)年4月1日 至 2011(平成23)年3月31日

収入の部 自 2010(平成22)年4月1日 至 2011(平成23)年3月31日

科目	本年度予算		前年度決算		備考
繰越金	1,563		1,563		
会費	86,000		88,000		43名 4名複数年度会費含
雑収入・会合参加費	14,937	7,500	10,013	49,500	寄付受取利息
合計	110,000		149,076		

科目	予算額	決算額	備考
会場費	5,000	32,766	川越勉強会会場費代等
通信費	30,000	22,705	
総会費	25,000	38,265	講師謝礼等
印刷費	40,000	38,810	
事務費	4,000	4,310	コピー代等
勉強会講師代	6,000	3,000	勉強会講師資料代等
予備費	0	0	
次年度繰越	0	9,220	
合計	110,000	149,076	4名の前受金があり 141,076円

2 会計監査報告

法政むさし野会 会長 石井 満殿

法政むさし野会の平成22年度（2010年4月1日～2011年3月31日）収支計算及び付属書類について、2011年4月5日に監査を行った結果、何れも会則に従い会計処理は適正に実施されている事を認めます。

会計監査 鹿野 幸作 ㊞
会計監査 小林 薫 ㊞

長井先生より寄付（800円＝切手）をいただきました。

■ 第3号議案 2011(平成23)年度活動方針(案)

本会の目的を達成する為に、昨年度同様「会員による研究発表会・歴史文化施設の見学会等」の開催、「会報むさし野」の発行を主たる活動に、その他、母校法政大学及び会員のご協力の下、入会勧誘活動を展開して行きます。また、卒業生として、法政大学校友連合会並びに学部同窓会・地域支部等との情報交換、それらの行う諸事業に参加・協力してまいります。

- 1 定期総会の開催 2011(平成23)年度 定期総会
- 2 役員会の開催 定例会を年3回、その他必要に応じて適宜開催
- 3 会報の発行 年3回(5,9,1月に発行)
- 4 研究発表会の開催 年2回(10月、2月に開催・終了後「懇親会」を開催)
- 5 講演会の開催 定期総会開催時 講演者 石井 正氏「日本政治・経済の行方」
- 6 法政大学校友連合会主催事業への参加
 - ・東京六大学野球観戦「神宮の集い」春・秋リーグ
 - ・第19回法政大学全国卒業生の集い 鹿児島大会 10月21日～23日
 - ・2012年「オール法政新年を祝う会」
 - ・その他、アメリカンフットボール、箱根駅伝などの応援、等々。
- 7 新規会員の勧誘 法政大学オレンジネット校友課の協力及び会員の紹介による勧誘活動を主に展開を図る
- 8 その他ホームページの充実。会員名簿の配布、連絡通信体制の整備(メール、ファックス等による)

■ 第4号議案 2011(平成23)年度収支予算(案)

支出の部 自 2011(平成23)年4月1日 至 2012(平成24)年3月31日

収入の部 自 2011(平成23)年4月1日 至 2012(平成24)年3月31日

科目	予算額		前年度決算額		備考	
繰越金	9,220		1,563			
会費	86,000		88,000		43名	
雑収入	会費	8,780	16,000	10,013	49,500	受取利息・寄付など
合計	120,000		149,076			

科目	本年度予算額	前年度決算額	備考
会場費	10,000	32,766	会場費、茶菓代
通信費	30,000	22,705	
総会費	30,000	38,265	講師謝礼・会場費
印刷費	39,000	38,810	
事務費	4,000	4,310	
勉強会講師代	6,000	3,000	
予備費	1,000	9,220	繰越金含
合計	120,000	149,076	

「2011 オール法政新年を祝う会」

2011年「オール法政 新年を祝う会」が1月18日、東京・千代田区紀尾井町の赤坂プリンスホテル・クリスタルルームで、全国から700名の校友が集い開催されました。3月末で閉館となるこのホテルで最後の大イベントとなった交友会は毎年の事ながら壮観なものでした。

当「法政むさし野会」からは飯田、大川、大野、尾辻、黒木、筑井、鹿野、桑名、竹村、矢田、黒木の各名が参加し、会場の1テーブルを「法政むさし野会」で占め、存在感を示しました(右の写真)。

校友会会長の岩部金吾氏から開会の挨拶があり、来賓として、増田壽男法政大学総長と池邊裕法政大学後援会長の挨拶のあと、校友連合会に長年貢献された3支部に岩部会長より感謝状が授与され、今年第19回法政大学全国卒業生の集い「鹿児島大会」が開催されることから鹿児島支部の荒武連支部長が乾杯音頭と鹿児島大会のご案内をして、フレンチ料理と歓談に入りました。

今年のアトラクションは小柳ルミ子ショー。デビュー曲



から久しぶりだという新曲の初披露まで、会場とのやりとりも含めて貫禄とエンターティナーぶりを発揮した舞台を見せてくれました。法政大学応援団とチアガールによるスポーツ法政の意気盛んな応援風景も繰り広げられました。最後に、法政大学卒のプリンスホテル執行役員5名が紹介され、岩村元雄校友連合会副会長の閉会挨拶のあと全員で校歌を高らかに歌い終了しました。(筑井 記)

総会の記念講演 『日本政治・経済の行方』

石井 正 氏（時事通信解説委員）

産業立国・貿易立国として生きてゆかなければならない日本としては、いま持っている産業・科学の優位性をもっと磨いてアジア・世界のリーダーとしての立場を保持していくよう努めたい。そのためには少子高齢化時代を見据えながらも「小さな政府」を目指した財政・経済政策を打ち出していく必要がある。東日本大震災や原発事故で、こうした日本の将来はどうなっていくのか。お話をうかがい、みんなで考えましょう。

定期総会スケジュール

- ・日 時 2011年6月5日（日）13時30分～17時00分
- ・場 所 さいたま市民会館うらわ 605号室
（今年も総会において会員皆様の趣味や活動の成果を展覧します）
（役員の方は13時までにご参集下さい）

第1部 総会 13:30～13:55

・会長挨拶

- ・議事 第1号議案 2010年度活動報告について
- 第2号議案 2010年度収支決算及び会計監査報告について
- 第3号議案 2011年度活動方針について
- 第4号議案 2011年度予算について

第2部 講演会 石井 正氏「日本政治・経済の行方」14:00～15:30

（写真撮影）

第3部 茶話会 15:40～17:00

飯田さんの楽しい「読み聞かせ」に感動 秋の勉強会

講演された飯田さんは「会報・むさし野38号」に記事があるように読み聞かせ歴10年という。今回の読み聞かせは「千の風になって」から始まった。千の風は余りにも人の心を打ったためか、私も友人からCDが送られて来た。また、大学を卒業し、弁護士試験を受ける息子を癌で亡くした人にも貰った。秋川さんの歌は素晴らしいものですが、もう一度詩をゆっくりと言葉として聞き読むのもいいのではと感じた。

今日の表題の「葉っぱのフレディー」は元気に生まれた緑の葉っぱも寒い冬が来ればそれぞれ枝を離れなければならない。友達のアルフレッドやベンたちも紅葉したり黄葉したりしてダニエルは深い紫色に変わりみ



絵本を手に、朗読する飯田さん

まないなくなる。フレディーも赤や金色の混じったみごとな紅葉となり、ここから居なくなる。童話ながら人世観の含まれた深い内容である。

紙芝居の「平和のちかい」は原爆を取り上げた彫刻家の佐藤忠良氏の作画であり幼い頃より美術的な絵を見ることは良い事であろう。絵本も名のある方が書いているし、童話は大人が見ても楽しいものも多いですね。他にもいくつか聞かせてくれた童話も昔の修身的な話であり子供の内にこのような話を聞くのは意味があるというより必要なのではないかと思う。対象は介護施設もあるようだが聞かせて貰った子供が中学生になった時の本好き読書力に期待が持てると思う。

読み聞かせの実行に対する注意事項に、人間だけでなく地球上の生物にも焦点をあて、感情の悲喜こもごもを細かく表現し、嫌な出来事も冷静に理解できるように取り入れるとあった。

飯田さんは読む時注意している事は、悲しい話も表現を明るくすると話された。今回このような機会に参加して、朗読でなく「読み聞かせ」をよく理解でき、人間形成にも貢献する活動である事もまた理解できた。飯田さんに再びの拍手を送りたい。（桃木）

◆あしがき◆

「春の海のたりと人を殺しけり」「歯を磨き顔が洗えるさくら時」「花水木行ってきますといたきり」今度の東日本大震災は言葉になりません。私達はこれからずっと被災者された方々に寄り添って行きたいと思えます。（鳥海）